

平成29年度事業報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

法人の名称 特定非営利活動法人

チャイルドファーストジャパン

1 事業の成果

特定非営利活動に係る事業については、原則として、昨年度の実績内容を継続した。従って、主たる事業は、ケースワーク事業、子どもの権利擁護センター事業、オンブズパーソン活動、研究・研修事業、啓発事業であった。

今年度もこれを継続した。

啓発事業のうち、乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育事業は、昨年度に引き続き、神奈川県の実業に協力することで、SBS 予防教育実施医療機関のさらなる増加に努めた。

昨年度に引き続き、ChildFirst Japan ファカルティによる RIFCR™ 研修を継続した。

Gundersen National Child Protection Training Center (GNCPTC)が米国において、2014年にChildFirst™をChildFirst®として正式に商標登録したことに基づき、ChildFirst Japanも平成26年度(2014年度)ChildFirst™ 司法面接プロトコルをChildFirst® 司法面接プロトコルに改訂して、今年度も司法面接研修を継続した。

また、平成27年2月7日に『子ども権利擁護センターかながわ』を開所したことに基づき、それまでは社会福祉法人子どもの虐待防止センター(東京)に協力する形で実施していた虐待被害児診察技術研修を平成27年度から当法人の実業としても開始し、今年度も継続した。

なお、これら、ChildFirst Japan 研修事業は、特定非営利活動に係る事業会計と切り離し、ChildFirst Japan 特別会計で管理した。このChildFirst Japan 特別会計は、特定非営利活動に係る事業と収益事業とに分け、当法人が会場を準備し、受講者を募集して実施するセンター型ChildFirst® 司法面接研修とセンター型RIFCR™ 研修およびセンター型虐待被害児診察技術研修を特定非営利活動に係る事業とし、地方自治体等の団体・組織から招聘され、委託事業として実施する出前型ChildFirst® 司法面接研修と出前型RIFCR™ 研修および出前型虐待被害児診察技術研修を収益事業とした。

これによって、収益事業を、一般会計収益事業とChildFirst Japan 特別会計収益事業の二つに分けることとした。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

①子ども虐待・ネグレクトのケースワーク事業

ア ケースワーク事業

・内 容 児童相談所・各市町村等が開催する個別ケース検討会議等に、要請に応じて出席し、事例の重症度判定およびケースワーク方針等について助言・協力した。

・日 時 平成29年9月25日(月)

・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室

- ・従事者人員 2人
- ・対象者 当該事例に関わっている支援者および当法人の電話相談員、計4人

イ 子どもの権利擁護センター事業

- ・内容 平成27年2月7日に、当法人の事務所の1階に開所した『子どもの権利擁護センター(CAC)かながわ』を子どものためのワン・ストップ・センターとして機能させ、虐待・ネグレクトなどの人権侵害を受けたと疑われる子どもたちや犯罪被害に遭った子どもたち、犯罪を目撃した子どもたち等に対して、多機関連携チーム(MDT: Multidisciplinary Team)の枠組みで司法面接と系統的全身診察を実施した。
- ・日時 平成29年10月11日(水)午後
平成29年10月18日(水)午後
平成29年11月1日(水)午後
平成29年11月8日(水)午後
平成29年11月22日(水)午後
平成29年12月20日(水)午後
平成30年1月10日(水)午後
平成30年1月17日(水)午前
平成30年1月17日(水)午後
平成30年3月28日(水)午後
- ・場所 この法人の事務所の1階に設置された『子どもの権利擁護センターかながわ』
- ・従事者人員 各回4~6人
- ・対象者 虐待・ネグレクトの疑われる子ども、原則として1日に1人ずつ

②子ども虐待・ネグレクトを扱う行政機関に対するオンブズパーソン活動

ア 苦情相談

- ・内容 電話もしくは事務局窓口にて、行政機関利用者からの虐待・ネグレクトの処遇に関する苦情を受理し、相談に応じ、必要があれば行政への提言を行った。
- ・日時 通年、週2回(月・水曜日) 午前10時~午後4時
- ・場所 この法人の事務所
- ・従事者人員 各回2人
- ・対象者 虐待・ネグレクトに関して行政機関を利用した者

③研究・研修事業

ア 研修会

- ・内容 虐待・ネグレクトの専門家を対象とした研修会の開催
- ・日時 第76回 平成29年5月20日(土)(講師;CFJ理事長 山田 不二子)
第77回 平成29年9月9日(土)(講師;CFJ理事 青木 豊)
第78回 平成29年12月9日(土)(講師;CFJ理事長 山田 不二子)
第79回 平成30年3月17日(土)(講師;ルポライター 杉山 春氏)
- ・場所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室、神奈川県総合医療会館

- ・従事者人員 約10人
- ・対象者 子ども虐待・ネグレクトの専門家
- ・参加者 各回15～41人（述べ109人；会員23名、非会員80名、学生6人）

イ 電話相談員等ボランティア養成事業

- ・内容 『虐待相談かながわ』の電話相談員等、子ども虐待・ネグレクトの防止活動ボランティアを養成するための講座を開設した。
- ・日時 平成29年4月～7月
 基礎講座 2時間30分×4回（4月20日、27日、5月11日、18日）
 講師；理事長 山田 不二子
 実践講座 3時間×3回（5月24日、31日、6月7日）
 指導者；この法人の電話相談員6人
 応用講座 2時間30分×4回（6月15日、7月6日、20日、8月3日）
 講師；理事長 山田 不二子
- ・場所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・従事者人員 1～10人
- ・対象者 一般市民の中で電話相談員等子ども虐待防止ボランティア活動を志望する者
- ・参加者 基礎講座15人、実践講座4人、応用講座2人

ウ 『CACかながわ』ケース・カンファレンス

- ・内容 司法面接者の技術向上のため、『子どもの権利擁護センター(CAC)かながわ』で実施した司法面接の録画ビデオを使って面接内容等を検証するピア・レビュー。
- ・日時 適宜実施することとしているが、今年度は実施しなかった。
- ・場所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・従事者人員 4～6人
 このうち、理事長 山田 不二子はスーパーバイザー
- ・対象者 この法人の『子どもの権利擁護センターかながわ』司法面接者

エ ChildFirst Japan センター型 RIFCR™ 研修

- ・内容 通告義務者向けの聞き取り研修
- ・日時 横浜会場（神奈川総合医療会館）
 平成29年 4月22日(土) 参加者：38名
 平成29年 8月27日(日) 参加者：37名
 平成29年10月14日(土) 参加者：39名
 平成29年12月17日(日) 参加者：37名
 平成30年 1月27日(土) 参加者：37名
 名古屋会場（ウィルあいち 愛知県女性総合センター）
 平成29年 7月29日(土) 参加者：37名
 平成30年 1月20日(土) 参加者：37名
 三重会場（桑名医師会館）

平成29年 7月 9日(日) 参加者：39名
新潟会場(プリン長岡 ながおか・若者・しごと機構)

平成29年10月29日(日) 参加者：24名

- ・場 所 神奈川総合医療会館、ウィルあいち愛知県女性総合センター、
桑名医師会館、プリン長岡 ながおか・若者・しごと機構
- ・講 師 ChildFirst Japan RIFCR™ ファカルティアー 各回3～4人
- ・対 象 者 小・中・高校の養護教諭や幼稚園教諭・保育士など、子どもの性虐待を発見
しやすい職種に従事する者、各回定員40人
- ・参 加 者 各回24～39人(延べ325人)

オ ChildFirst Japan センター型 ChildFirst® 司法面接研修

- ・内 容 多機関連携チーム(MDT)の枠組みで実施する司法面接(調査・捜査のための
聞き取り)の研修。研修プロトコルは、GNCPTC (Gundersen National Child
Protection Training Center)が開発した ChildFirst® 司法面接プロトコル。
- ・日 時 第1回；平成29年 5月24日(水)～28日(日)
第2回；平成29年 9月14日(木)～18日(月・祝)
第3回；平成29年11月 1日(水)～5日(日)
第4回；平成30年 3月21日(水・祝)～25日(日)
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
および1階 面接室と観察室
- ・講 師 ChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティアー (ChildFirst® 司法面接研修
GNCPTC 認定トレーナー) 8人
- ・従事者人員 8～10人(このうち、8人は ChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティアー)
- ・対 象 者 全国の児童相談所職員、警察官、検察官、家庭裁判所調査官、弁護士、医師
・看護師等医療職などの多職種専門家、各回定員20人(延べ80人)
- ・参 加 者 各回20人(延べ80人)

カ センター型虐待被害児診察技術研修

- ・内 容 多機関連携チーム(MDT)を構成する医療者、児童相談所職員、警察官、検察
官や将来、子どもの権利擁護センター(CAC)の職員として活動する可能性の
ある職専門職を対象として、MDT のあり方を研修するとともに、虐待被害
児の病態理解と診察技術の習得を目指した。
従来の1日型研修に加え、今年度より、遠方からの受講者に配慮した2日型
研修を創設した。
- ・日 時 1日型：
平成29年10月22日(日)
平成30年 3月11日(日)
2日型：
平成29年 8月19日(土)～20日(日)
平成30年 1月13日(土)～14日(日)
計4回

- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室および1階 診察室
- ・講 師 理事長 山田 不二子
- ・従事者人員 2人（このうち、1人は理事長 山田 不二子）
- ・対 象 者 前半講義のみ参加；子ども虐待に関わる全ての専門職種、各回定員14人
前半講義及び後半講義と実技参加；医師、助産師、看護師等医療者および
MDT コア・メンバーとなる職種（児童福祉司、警察官、検察官、CAC 職員）、
各回定員10人
- ・参 加 者 各回3～12人（延べ51人）

④啓発事業

ア 学術集会

- ・内 容 第20回子ども虐待防止シンポジウム 学術集会
特定非営利活動法人かながわ子ども虐待ネグレクト専門家協会との二者共催
で「子ども虐待におけるリーガルソーシャルワーク～英国の歴史～」をテー
マとして、子ども虐待対応における家庭裁判所の果たす役割の重要性を研修
した。特定非営利活動法人かながわ子ども虐待ネグレクト専門家協会と共に、
「第20回子ども虐待防止シンポジウム事業体」を組織し、両法人正会員の
中から実行委員を選出して企画運営を行った。経理は「平成29年度子ども
虐待防止シンポジウム事業特別会計」で管理した。
- ・日 時 平成29年11月25日(土)
- ・場 所 日本財団 大会議室 AB
- ・海外招聘講師 Naomi Deutsch 氏：LUMOS ソーシャルワーカー専門家遠隔支援員
- ・日本人講師 増沢 高氏 ：子どもの虹情報研修センター 研修部長
上鹿渡 和宏氏：長野大学 社会福祉学部 教授
山岡 祐衣氏：オクラホマ大学 健康科学センター 子ども虐待ネグレクト
センター研究員
藤林 武史氏：福岡市こども総合相談センター(福岡市児童相談所)所長
山田 不二子：CFJ 理事長
- ・従事者人員 20人
- ・対 象 者 児童福祉・母子保健・医療・教育・司法・警察の各関係者(約190人)
- ・参 加 者 75人(2日間の参加者実数；78人、参加費納入者数80人)

イ パネル・ディスカッション

- ・内 容 第20回子ども虐待防止シンポジウム パネル・ディスカッション
午前の部：「子ども虐待ソーシャルワークの日英比較」
午後の部：「家庭裁判所が関与すると、日本の子ども虐待対応はどう変わる
か？」
- ・日 時 平成29年11月26日(日)
- ・場 所 日本財団 大会議室 AB
- ・パネリスト Naomi Deutsch 氏：LUMOS ソーシャルワーカー専門家遠隔支援員
増沢 高氏：子どもの虹情報研修センター 研修部長

山岡 祐衣氏：オクラホマ大学 健康科学センター 子ども虐待ネグレクト
センター研究員

河浦 龍生氏：福岡市子ども家庭支援センター はぐはぐ所長

藤林 武史氏：福岡市こども総合相談センター(福岡市児童相談所)所長

- ・ 座 長 山田 不二子 (CFJ 理事長)
- ・ 従事者人員 18名
- ・ 対 象 者 児童福祉・母子保健・医療・教育・司法・警察の各関係者 約190人
- ・ 参 加 者 66人(2日間の参加者実数；78人、参加費納入者数80人)

ウ 乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育事業

- ・ 内 容 神奈川県と伊勢原市が米国のプログラムを元に共同開発した乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育プログラムや各医療機関が独自に開発した SBS 予防教育プログラム等を神奈川県内の医療機関に広める神奈川県の事業に協力することで、SBS 予防教育実施医療機関のさらなる増加を図った。
- ・ 日 時 通年
- ・ 場 所 鎌倉市医師会立産科診療所ティアラかまくら等、新規参画医療機関を支援した。
- ・ 従事者人員 4～6人
- ・ 対 象 者 指導者研修：各病院産科病棟・新生児室の看護師・助産師

エ ニューズレターの発行

- ・ 内 容 平成29年度はニューズレターを発行しなかった。
- ・ 日 時 年0回
- ・ 場 所 この法人の事務所
- ・ 従事者人員 6～10人
- ・ 対 象 者 この法人の会員等、約300人

オ インターネット・ホームページの開設

- ・ 内 容 インターネット・ホームページを平成14年4月に開設し、今年度も継続した。
- ・ 日 時 通年
- ・ 場 所 この法人の事務所
- ・ 従事者人員 1人

カ 一般社団法人日本子ども虐待防止学会第23回学術集会・ちば大会 パネル展示

- ・ 内 容 一般社団法人日本子ども虐待防止学会(JaSPCAN)第23回学術集会・ちば大会に参加し、啓発活動の一環として当法人活動を紹介するパネルを展示した。
- ・ 日 時 平成29年12月2日(土)～3日(日)
- ・ 場 所 幕張メッセ国際会議場
- ・ 従事者人員 1人
- ・ 対 象 者 JaSPCAN 第23回学術集会・ちば大会の参加者

(2) 収益事業

①電話相談事業

ア 『虐待相談かながわ』

- ・内 容 電話相談員養成講座を受講した電話相談員が虐待・ネグレクトをする保護者等からの電話相談を通して、事例のモニタリングとカウンセリングを行い、虐待・ネグレクトの専門家からの相談にも対応して、助言・協力を行った。
- ・日 時 通年、週2回（原則として月・水曜日）午前10時～午後4時
- ・場 所 この法人の事務所内 電話相談室
- ・従事者人員 各回2～11人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトをする保護者、虐待・ネグレクトに関わる専門家等
各回0～4人、相談受理件数延べ37件

②研究・研修事業

ア 『虐待相談かながわ』ケース・カンファレンス

- ・内 容 この法人の電話相談員の資質と専門性の向上のための事例検討会の開設
- ・日 時 月2回、原則として第一月曜日 午後3時～6時、第三水曜日午後6時～8時、ただし、司法面接・系統的全身診察が行われない場合は4時～6時
平成29年4月3日(月)、4月19日(水)、6月5日(月)、7月19日(水)、
7月24日(月)、8月16日(水)、9月4日(月)、9月20日(水)、
11月6日(月)、11月15日(水)、12月11日(月)、
平成30年1月15日(月)、1月24日(水)、2月5日(月)、
2月21日(水)、3月12日(月)、3月14日(水) 計17回
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・講 師 理事長 山田 不二子（スーパーバイザー）
- ・従事者人員 2～11人
- ・対 象 者 この法人の電話相談員6～11人

イ ChildFirst Japan 出前型 RIFCR™ 研修

- ・内 容 通告義務者向けの聞き取り研修を招聘元に出向して実施した。
- ・日 時 平成29年6月17日(土)、18日(日)：北海道函館市
 - ・招聘元：函館中央病院 医療福祉相談室
 - ・場 所：函館中央病院
 - ・参加者：6月17日(土)39名、18日(日)39名平成29年7月28日(金)：京都府
 - ・招聘元：京都府家庭支援総合センター
 - ・場 所：京都府家庭支援総合センター
 - ・参加者：38名平成29年8月26日(土)：神奈川県
 - ・招聘元：神奈川県スクールカウンセラー協会
 - ・場 所：地球市民かながわプラザ（あーすプラザ）
 - ・参加者：24名

平成29年9月8日(金)：徳島県

- ・ 招聘元：徳島県
- ・ 場 所：徳島県庁
- ・ 参加者：38名

平成29年9月23日(土)：群馬県

- ・ 招聘元：群馬大学医学部付属病院
- ・ 場 所：群馬大学医学部付属病院 臨床講義棟
- ・ 参加者：39名

平成29年9月29日(金)：静岡県

- ・ 招聘元：清明寮
- ・ 場 所：浜松市役所 北館
- ・ 参加者：34名

平成29年10月24日(火)：福岡県

- ・ 招聘元：福岡市こども総合相談センター
- ・ 場 所：福岡市こども総合相談センター
- ・ 参加者：34名

平成29年11月18日(土)：愛知県名古屋市

- ・ 招聘元：日本福祉大学社会福祉総合研修センター
- ・ 場 所：名古屋第二赤十字病院 管理棟
- ・ 参加者：37名

平成29年12月23日(土)：群馬県

- ・ 招聘元：群馬大学医学部付属病院
- ・ 場 所：高崎総合医療センター
- ・ 参加者：40名

平成30年2月3日(土)：高槻市

- ・ 招聘元：社会医療法人愛仁会 高槻病院
- ・ 場 所：社会医療法人愛仁会 高槻病院
- ・ 参加者：39名

平成30年2月24日(土)、25日(日)：香川県

- ・ 招聘元：独立行政法人国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター
- ・ 場 所：24日(土)高松赤十字病院 研修センター
25日(日)四国こどもとおとなの医療センター これびホール
- ・ 参加者：2月24日(土)39名、25日(日)40名

平成30年3月4日(日)：秋田県

- ・ 招聘元：一般社団法人 秋田県医師会
- ・ 場 所：秋田県保険総合センター
- ・ 参加者：40名

平成30年3月16日(金)：福岡県

- ・ 招聘元：福岡市

- ・場 所：福岡市こども総合相談センター
- ・参加者：23名

延べ受講者数543人

- ・講 師 ChildFirst Japan RIFCR™ ファカルティ 各回3～4人
- ・従事者人員 6～7人（このうち、3～4人はRIFCR ファカルティ）
- ・対 象 者 小・中・高校の養護教諭や幼稚園教諭・保育士など、子どもの性虐待を発見しやすい職種に従事する者、各回定員40人

ウ ChildFirst Japan 出前型 ChildFirst® 司法面接研修

- ・内 容 自治体等の団体・組織からの招聘に基づき、GNCPTC（Gundersen National Child Protection Training Center）が開発した ChildFirst® 司法面接プロトコルを多機関連携チーム（MDT：Multidisciplinary Team）で構成された受講者に研修し、MDT の枠組みで司法面接を実施する体制を各地に構築する事業だが、平成29年度は ChildFirst Japan 出前型 ChildFirst® 司法面接研修を開催しなかった。
- ・日 時 0回
- ・講 師 ChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティ（ChildFirst® 司法面接研修 GNCPTC 認定トレーナー）8人
- ・対 象 者 各県・政令市で活動する児童相談所職員、警察官、検察官、家庭裁判所調査官、弁護士、医師・看護師等医療職などの多職種専門家、各回定員20人

エ 出前型虐待被害児診察技術研修

- ・内 容 自治体等の団体・組織からの招聘に基づき、多機関連携チーム（MDT）を構成する医療者、児童相談所職員、警察官、検察官、子どもの権利擁護センター（CAC）職員等を対象として、MDT のあり方を研修するとともに、虐待被害児の病態理解と診察技術の習得を目指した。
- ・日 時 平成29年7月9日（日）
 - ・招聘元：横浜市児童相談所
 - ・場 所：横浜中央児童相談所
 - ・参加者：25名
 平成29年12月16日（土）
 - ・招聘元：横浜市児童相談所
 - ・場 所：横浜中央児童相談所
 - ・参加者：15名
 平成30年2月25日（日）
 - ・招聘元：埼玉県済生会川口総合病院
 - ・場 所：埼玉県済生会川口総合病院
 - ・参加者：55名
 延べ受講者数95人
- ・講 師 理事長 山田 不二子
- ・従事者人員 1人

- ・対象者 招聘元が招集した参加者

オ 『子どもの権利擁護センターかながわ』見学および研修

- ・内容 『子どもの権利擁護センターかながわ』施設見学および研修
- ・日時 平成29年6月2日(金)、6月3日(土)、6月26日(月)、7月20日(木)、8月31日(木)、9月21日(木)、10月5日(木)、平成30年2月8日(木)計8回
- ・場所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室および1階
- ・従事者人員 各回1～3人
- ・参加者 児童福祉・母子保健・医療・教育・司法・警察 他

③専門家派遣事業

ア 講演会・講義等に対する講師派遣

- ・内容 この法人に対して、他団体から講演会・講義等の講師の招聘があったときに、当法人の役員や正会員を派遣した。
公益社団法人 日本看護協会：SBSの予防と看護職の役割 講師
平成29年4月11日
神奈川県 県民局 次世代育成課：SBS 予防プログラム医療機関講座 講師
平成29年5月13日、6月16日、9月21日、10月16日
平成30年1月26日、1月28日、2月23日、3月18日
東京医科歯科大学 医学部 医学科：公衆衛生学 学外実習
平成29年5月23日
横浜市中央児童相談所：面接者フォロー研修 講師
平成29年6月12日、11月13日、平成30年2月19日
社会福祉法人 雲柱社：こども家庭相談研修 講師
平成29年6月13日
海老名市 保健福祉部 子育て相談課：海老名市要保護児童対策地域協議会
研修 講師
平成29年6月20日
神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター：子ども虐待予防研修 講師
平成29年7月4日、11日、25日
川崎市立多摩病院：MCAP 委員会主催研修会 講師
平成29年7月14日
神奈川県立瀬谷養護学校：県立学校人権教育校内研修会 講師
平成29年7月21日
神奈川県立厚木商業高等学校：県立学校人権教育校内研修会 講師
平成29年7月24日
神奈川県立寒川高等学校：県立学校人権教育校内研修会 講師
平成29年7月26日
神奈川県立根岸高等学校：県立学校人権教育校内研修会 講師
平成29年8月21日

神奈川県立荏田高等学校：県立学校人権教育校内研修会 講師
平成29年8月23日

神奈川県立舞岡高等学校：県立学校人権教育校内研修会 講師
平成29年8月24日

神奈川県立麻生養護学校：県立学校人権教育校内研修会 講師
平成29年8月28日

神奈川県立中原養護学校：県立学校人権教育校内研修会 講師
平成29年8月29日

社会福祉法人 進和学園：人権研修会 講師
平成29年9月22日

神奈川県立茅ヶ崎高等学校：県立学校人権教育校内研修会 講師
平成29年10月19日

横浜市中心児童相談所：児童福祉司任用後研修 講師
平成29年10月30日

静岡県 函南町：函南町まちづくりセミナー 講師
平成29年11月11日

社会福祉法人 かながわ共同会：秦野精華園園内研修会 講師
平成29年12月21日

神奈川県立海老名支援学校：県立学校人権教育校内研修会 講師
平成29年12月22日

睦母子生活支援施設：研修会 講師
平成30年1月16日、3月2日

大塚製薬株式会社：高知県小児神経疾患研究会 講師
平成30年2月15日

市立秋田総合病院：CAPS講演会 講師
平成30年3月5日

- ・場 所 招聘地
- ・講 師 この法人の役員または正会員
- ・従事者人員 1～3人
- ・対 象 者 招聘元が招集した参加者

イ 司法面接者・診察医派遣

- ・内 容 この法人に対して、児童相談所・警察・検察等から司法面接者・虐待被害児診察医の派遣要請があったときに、当法人の ChildFirst Japan ファカルティーを派遣した。
- ・日 時 平成29年6月23日
- ・場 所 招聘地
- ・派 遣 者 この法人の ChildFirst Japan ファカルティー
- ・従事者人員 3人
- ・対 象 者 招聘元が関わっている虐待被害児や犯罪を目撃した児童

④意見書・鑑定書作成事業

- ・内 容 子ども虐待ケースについてのスーパーバイズ及び意見書を作成した。
- ・日 時 平成29年5月
- ・場 所 当法人の事務所
- ・従事者人員 1～2人

⑤アナトミカル・ドール販売事業

- ・内 容 国際的に定評のある Teach-a-Bodies 社製アナトミカル・ドールの仲介販売を行った。
- ・日 時 随時
- ・場 所 当法人の事務所
- ・従事者人員 2～4人
- ・対 象 者 水戸地方検察庁、松山地方検察庁

(3) その他の事業

①チャリティー事業

ア チャリティー・パーティー

- ・内 容 この法人の正会員・賛助会員の親睦および特定非営利活動に係る事業の不足分資金の調達のために会費制の会食会を行う事業だが、平成29年度は、チャリティー・パーティーを行わなかった
- ・日 時 0回
- ・従事者人員 0人
- ・対 象 者 この法人の会員